



長徳寺の龍王櫻の後継樹が里帰り —林木遺伝子銀行110番による樹木の増殖サービス—

ポイント

- ・三重県津市の三重県指定天然記念物「ちやうとくじ長徳寺のりゅうおうざくら龍王櫻」の後継樹の苗木が、国立研究開発法人森林研究・整備機構森林総合研究所林木育種センター関西育種場から里帰りします。

概要

岡山県勝田郡勝央町にある国立研究開発法人森林研究・整備機構森林総合研究所林木育種センター関西育種場では、我が国の貴重な林木遺伝資源の保全を図るとともに、品種改良等に活用することを目的とした林木ジーンバンク事業を実施しています。この事業の一環として、各地の天然記念物や巨樹・名木等の収集・保存と併せて、所有者等の要請により後継樹を増殖するサービス「林木遺伝子銀行110番」を行っています。このサービスを利用した長徳寺からの増殖の要請を受けて、接ぎ木により増殖し育てた長徳寺の龍王櫻の後継樹が里帰りします。

- 里帰り日時及び場所 日 時：平成30年3月27日（火曜日） 午後1時（雨天決行）
場 所：三重県津市芸濃町雲林院107 長徳寺
- 里帰りする苗木本数 13本

お問い合わせ先

- 国立研究開発法人森林研究・整備機構森林総合研究所林木育種センター関西育種場
事業責任者：遺伝資源管理課 課 長 竹原正人（たけはらまさと）
担当者： 収集管理係長 河合貴之（かわいたかゆき）
普及調整専門職 笹島芳信（ささじまよしのぶ）
広報担当者：連絡調整課 連絡調整係長 林 勝洋（はやしかつひろ）
Tel：0868-38-5138 Fax：0868-38-5139
- 長徳寺
担当者：長徳寺 住 職 倉島智行（くらしまともゆき）
Tel：090-5859-2583

本資料は、三重県政記者クラブに配付しています。

背景

全国には、学校や神社など身近な場所で地元の人々に親しまれ、ふるさとのシンボルとなっている巨樹・名木等が数多く存在します。こうした巨樹・名木等は、長い年月にわたって、風雪に耐え生育し続けているので、自然環境に対する適応性や抵抗性に優れている可能性が高く、林木遺伝資源として貴重なものです。このため、国立研究開発法人森林研究・整備機構森林総合研究所林木育種センター関西育種場では、天然記念物や巨樹・名木等の収集・保存を進めるとともに、樹木が衰弱している等で所有者等からの要請により後継樹の苗木を増殖するサービス「林木遺伝子銀行 110 番」を平成 15 年から実施しています。関西育種場ではこれまでに 80 本以上の巨樹・名木等の後継樹の里帰りを実施してきました。後継樹の苗木は、さし木や接ぎ木で増殖したクローン苗木であり、親木と同じ遺伝子を持っていますので、二代目として成長することが期待されます。

内容

今回里帰りする後継樹の親木は、三重県津市の「長徳寺の龍王櫻」です。樹高約 5m、胸高直径約 22 cm、盃状の樹形をしている推定樹齢 100 年の桜で、三重県の天然記念物に指定されています。

長徳寺の前の淵に住んだといわれる龍が天に昇るときに、うろことともに残した桜の種子から育ったという伝説が伝えられています。この龍王櫻は花と葉が同時に出る珍しい種類です。地域の人々の目を楽しませてきた龍王櫻も鹿による獣害などで弱ってしまい、長徳寺では種の保存を試みるも成功しなかったことから、この地域の昔話にもなっている桜を後世に残すために後継樹育成の依頼がありました。

平成 29 年 1 月 20 日に親木から枝（穂木）を採取し、平成 29 年 4 月 3 日に当育種場で接ぎ木増殖を試みてきました。このほど増殖に成功し、野外に植栽しても生育できる見込みがたったことから、13 本を平成 30 年 3 月 27 日に里帰りさせることとなりました。

図、表、写真等



長徳寺の龍王櫻



龍王櫻の後継樹